

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)5月26日

所属名：湖北農産普及課

番号：G21003

部門分類：120 麦

発信者名：富家、川村、新谷、長瀬

大麦の成熟期・収穫適期予測を行いました

5月12日、栽培面積が管内約950haにまで拡大している大麦の適期収穫に向けて、管内34箇所のは場でサンプリング調査を実施し、成熟期・収穫適期予測を行いました。

湖北管内では、大麦「ファイバースノウ」の作付面積が麦類全体の約70%を占めています。当課は管内JAと連携しながら、品質や収量向上のための支援を行っています。

麦類の成熟期・収穫適期予測は、平成18年から毎年実施しています。各は場で10穂ずつサンプリングした後、それぞれの生重量と乾燥重量を測定し、そこから求められる子実水分率から成熟期と収穫適期を予測します。子実水分率と、3月から4月中旬まで気温が高く推移したことをふまえ、今年度の収穫適期は昨年より2日程度早まると予測しました。

高品質な大麦を収穫するためには、収穫適期の子実水分25%以下で収穫し、かつ刈り遅れないことが重要です。今回得られたデータを活用し、今後乾燥調製施設の稼働期間を検討すると共に、農業者に向けて麦作情報等を通じて適期収穫の啓発を行っていきます。



サンプリングの様子